



2023年9月29日

各位

会社名 第一生命ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 菊田 徹也  
(コード番号: 8750 東証プライム)  
問合せ先 経営企画ユニット IRグループ  
(TEL 03-3216-1222(代))

---

[訂正]2021年3月期・2022年3月期・2023年3月期・2024年3月期第1四半期における  
新契約価値等の誤計上に関するお知らせ  
(決算補足資料およびヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示の訂正)

---

第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」といいます。)は、これまでに公表してきたグループ新契約価値、および第一生命保険株式会社(以下「第一生命」といいます。)単体の新契約価値、およびこれらに関連する数値に誤りがあったことが判明しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本件について、株主、投資家の皆様をはじめ、関係各位に多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 誤りの内容

当社がこれまでに公表しておりました 2021年3月期・2022年3月期・2023年3月期における当社グループおよび第一生命単体の新契約価値、新契約マージン、収入保険料現価、および 2024年3月期第1四半期における当社グループおよび第一生命単体の新契約価値(概算値)の数値について、誤りがあったことが判明いたしました。それぞれの訂正前、および訂正後の金額は[別表]のとおりです。

2. 影響範囲

本件が影響する主な公表資料は、上記期間に該当する TDnet にて適時開示した決算補足資料(決算電話会議資料)およびヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示(EEVレポート)、ならびに決算経営説明会資料、有価証券報告書、事業報告書、統合報告書になります。なお、2020年3月期以前の数値への影響はございません。また、本件は新契約の収益性指標にのみ影響する誤りであり、EEV および保有契約価値の金額には影響はございません。また、会計数値や、お客さまにお支払いいただく保険料、お客さまにお支払いする給付金等への影響はございません。

3. 発生原因

第一生命において 2021年1月より発売を開始しました「総合医療一時金保険」について、給付事由に特定の部位不担保がある条件体契約において、新契約価値の計算に使用するデータ項目の数値が誤って設定されていたことによります。また、このデータ項目について検証が不十分でした。

根本原因としては、本商品は基本となる入院給付、生活習慣病入院給付、女性特定疾病入院給付と複数の給付を組み込んだ商品ですが、それぞれの給付に対して個別の不担保部位が設定される商品は初めてのケースであり、その新たな管理体系への対応が不十分だったことによります。

#### 4. 当該新契約価値の誤りが判明するに至った経緯

新商品の開発に向けて、現行商品である総合医療一時金保険の収益性を契約1件単位で分析していた際に、異常な水準の収益性を示す契約が検出されたことから、これまでの新契約価値が誤計上されていたことが判明いたしました。

#### 5. 訂正を行う過去の適時開示

開示日	資料名	該当ページ
2023年8月10日	2024年3月期 第1四半期決算補足資料(第一生命ホールディングス株式会社分)	p.2, 5, 7, 34
2023年5月26日	2023年3月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について	p.5, 10, 11, 12, 24, 28, 35, 37
2023年5月15日	2023年3月期 決算補足資料(第一生命ホールディングス株式会社分)	p.2, 5, 7, 8, 9, 24, 25, 27
2022年5月20日	2022年3月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示および2021年3月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示の一部訂正について	p.6, 12, 13, 14, 24, 28, 34, 36
2022年5月12日	2022年3月期 決算補足資料(第一生命ホールディングス株式会社分)	p.2, 4, 6, 7, 8, 21, 22, 24
2021年5月20日	2021年3月末ヨーロッパ・エンベディッド・バリューの開示について	p.4, 6, 11, 12, 13, 14, 26, 30, 36, 38
2021年5月14日	2021年3月期 決算補足資料(第一生命ホールディングス株式会社分)	p.2, 4, 6, 7, 8, 19, 20, 22

新契約価値等の数値は、過年度における第1・2・3四半期の決算補足資料(第一生命ホールディングス分)においても記載しておりますが、第1・3四半期は当該計算時点における概算値、第2四半期は当該計算時点における中間暫定値であることから、第4四半期の確定値を訂正いたします。ただし、2024年3月期第1四半期の概算値については、最新の数値であることから再計算し開示いたします。

#### 6. 今後の対応および再発防止策

上記以外の主要な公表資料のうち訂正を要するものについては、本開示をもってその訂正を行うことといたします。なお、過年度の有価証券報告書については、本日(9月29日)付で訂正報告書を提出いたします。

今後このような事態を発生させることがないように計測実務および検証体制の見直し、必要かつ有効な統制の整備を徹底してまいります。

[別表(※1)]

新契約価値 (グループ)

	2021年3月期 (括弧内は 基準変更前)	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期 (国内3社(※2) 概算値)
訂正前 (A)	億円 1,271 (1,126)	億円 1,266	億円 878	億円 60
訂正後 (B)	1,196 (1,051)	986	712	20
差分 (B-A)	△75 (△75)	△279	△166	△40

新契約価値 (第一生命単体)

	2021年3月期 (括弧内は 基準変更前)	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 第1四半期 (国内3社(※2) 概算値)
訂正前 (A)	億円 844 (901)	億円 686	億円 140	億円 0
訂正後 (B)	768 (825)	406	△25	△40
差分 (B-A)	△75 (△75)	△279	△166	△40

新契約マージン (グループ)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
訂正前 (A)	3.78%	3.00%	1.62%
訂正後 (B)	3.56%	2.36%	1.32%
差分 (B-A)	△0.21%	△0.64%	△0.30%

新契約マージン (第一生命単体)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
訂正前 (A)	5.43%	4.20%	0.98%
訂正後 (B)	4.98%	2.55%	△0.18%
差分 (B-A)	△0.45%	△1.65%	△1.16%

収入保険料現価（グループ）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
	億円	億円	億円
訂正前 (A)	33,673	42,223	54,078
訂正後 (B)	33,559	41,826	53,844
差分 (B-A)	△114	△397	△234

収入保険料現価（第一生命単体）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
	億円	億円	億円
訂正前 (A)	15,558	16,361	14,376
訂正後 (B)	15,444	15,964	14,142
差分 (B-A)	△114	△397	△234

※1 EEVレポートについては、2023年3月期以降端数処理を四捨五入形式に変更したため、上記数値と端数分乖離する部分がございます。

※2 国内3社は、第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命を指します。

以上